



現場住所：青森県上北郡野辺地町、下北郡東通町、  
横浜町

納入年月：2025年4月～現在納入中

納入製品：  
 送電用マンホール BOXタイプ  
 W1000×L4000~6000×H1800  
 送電用ジョイントトラフ U型タイプ  
 W1000×L4000~6000×H500  
 W900×L4500×H1500  
 数量：【小田野沢】151.0t 【雲雀平】489.4t  
 【野辺地北】232.8t 【豊畠西】101.5t



風力発電の導入が加速する青森県において、再エネ自営線事業向けに「送電用マンホール」および「送電用ジョイントトラフ」が納入されています。

本事例は、再生可能エネルギーの普及拡大を足元から支える取り組みであり、今後の再エネ自営線事業のさらなる発展に貢献していきます。



2023年度の国内年間発電電力量において、再生可能エネルギーが占める割合は26.1%となっています。

第6次エネルギー基本計画では、2030年度までに再生可能エネルギーの電源比率を36~38%へ引き上げる目標が掲げられ、さらに新たなエネルギー基本計画では「半分再エネへ」が閣議決定されました。

こうした国の方針を背景に、FIT制度のもとで普及が進んだ太陽光発電に加え、より大規模な発電が可能な風力発電の重要性は、今後さらに高まっていくと考えられています。

